



村松分校だより



村松分校は「いじめ」
を絶対に許しません!
「いじめ」を絶対に見
逃しません!

新潟県立五泉特別支援学校村松分校 学校便り
第2号 令和4年12月23日発行
〒959-1704 新潟県五泉市村松甲 5545
Tel:0250-47-3100 Fax:0250-58-2200
✉ : school@muramatsu-tk.nein.ed.jp



「開校1年目の取組について」

教頭 朝妻 裕祐

去る11月12日土曜日、開校記念式典が村松高校第一体育館にて挙行されました。当日は、秋晴れの中、多くの来賓、保護者の皆様よりご参加いただきました。おかげ様で、これまでの「学校生活のあゆみ」の紹介、代表生徒による「喜びのことば」や村松高校生徒も参加しての「記念合唱」など、無事に式典を終えることができました。書中をもちまして、改めて感謝申し上げます。大変ありがとうございました。

さて、令和4年4月1日に当校が開校して10か月が経とうとしています。教育活動は昨年度までの活動をベースにしながらも、「課題別学習」や「クラブ活動」などの新たな教育活動を加えて進めています。未だ手探りで種々の課題はありますが、今後も、より一層生徒一人一人の多様なニーズに応えられるよう教育活動を整えていきたいと考えています。

また、村松高等学校との交流活動につきましても、今年度は合同避難訓練（5月）や対面式（7月）、両校文化祭への参加（10・11月）等を通して、同じ敷地内で学ぶ同年代の生徒として互いを意識することができ、今後に向けて良いスタートが切れたと感じています。

さらに、新たに設置した通級指導教室では、主に五泉市内の中学生を支援しています。在籍校、保護者と緊密に連携し、生徒が在籍学級で生き生きと活動に取り組むことができるようにサポートをしています。今年度は10人生徒が通い、どの生徒も自らの課題に向き合う姿が見られています。

最後に、当校では作業学習の一環として、村松地域の商店街での清掃活動をスタートさせる予定です。地域と共にある学校づくりについても着実に進めていきたいと考えています。

授業の「窓」

子どもたちのきらめく活動の様子をご紹介します。

1学年部の「窓」



宿泊学習の事前学習では、1組・2組の生徒が4つの係に分かれて、立ち寄り地や宿でのマナーやルールを自分たちで考えてまとめることができました。自分たちで主体的に学習したことで、当日は、時間や約束事を守りながら活動することができました。温泉に入浴するのが初めての生徒もいましたが、心も体も温まりながら、皆で楽しく過ごすことができました。（文責：荒木）

2学年部の「窓」

2学年は、十日町、上越方面へ二泊三日の修学旅行に行きました。十日町市「清津峡」では、トンネルから見える紅葉の美しさを感じました。上越市水族館やアルパカ牧場では、海の生き物やアルパカに癒やされました。長岡市山古志にある復興交流館「おらたる」では、中越地震の被害の大きさを知り、地震が起きた時に自分の身を守ることや周囲の人と助け合うことの大切さを学びました。3日間、仲間と一緒に過ごし、たくさんの思い出ができました。

（文責：清水）



3学年部の「窓」



高校生活最初で最後の体育祭では、応援、競技、委員会での仕事と、様々な場面でリーダーシップを発揮し活躍する場面が見られました。応援では、リーダーが声を出しやすいように、周りで盛り上げる雰囲気が高まり、赤白共に力いっぱいの応援となりました。また、3年種目人間ウーバーイーツでは、友達と息を合わせて借り人を探し、紅白対抗で熱戦を繰り広げました。チームで団結して一つのことを成し遂げたことは、大切な思い出となりました。（文責：山田）

サービス班

きらめき祭特集

～きらめきカフェ～

コロナ禍により昨年度実施することができなかった、サービス班のカフェ活動。経験者が少なく準備は手探り状態でしたが、目標である「リラックスできるお店」を実現するため、生徒たちは様々な役割を経験しながらサービスの改善を重ねました。当日は、全員が明るく丁寧に接客し、お客様に喜んでいただくことができました。

(文責：阿部建)



マット班

～SDGs なマット班～

マット班が使用しているマットの材料は加茂市にある企業様が靴下を製作した際に出るリングです。今年度もそちらを使い、定番の形・サイズの四角、丸、六角のマットに加え、ミニサイズのマットの制作にも取り組み、販売をしました。きらめき祭では大盛況で、並んで購入いただきました！これからも地球に優しいマット班として頑張ります！

(文責：田村)



農耕・木工班

～日々の暮らしに1つの“温もり”を提示、木工班～

新作の印鑑ケース、人気のフラワースタンド、キーホルダー等々数も種類も豊富で多彩な木工製品。落ち着いた雰囲気の販売コーナーでは、一生懸命応対する6人の生徒たち。忙しく対応しつつも、ふとした瞬間に「僕たちの製品」とでも言っているかのように、ちょっと嬉しそうな表情がにじみ出ていました。
(文責：長谷川)



リサイクル班

～製品販売大成功！～

「いらっしゃいませ～！」という元気いっぱいの呼び込みで、リサイクル班の販売がスタートしました。製品は封筒や便箋、マチ付き袋等に加え、今年はお客様からのご要望を受けて制作した一筆箋や素敵なランタンもご用意しました。練習を積んで自分の仕事に取り組んだ生徒は、自信をもって接客し、たくさんの製品を販売することができました。
(文責：坂井)

